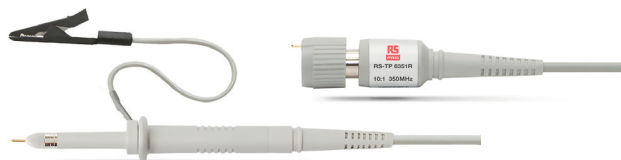




5 mm径オシロスコープ用プローブ



日本語



型式	RS品番:	減衰	入力負荷		帯域幅 (MHz)	上昇時間 (ns)	入力容量 (pF)	読み取り値対応機能
			R (MΩ)	C (pF)				
RS - TP 6351R	1799558	10:1	10	12	350	< 1	10-30	✓
RS - TP 6500R	1799557	10:1	2.2	12	500	< 0.7	6-15	✓



型式	RS品番	減衰	入力負荷				帯域幅 (MHz)		上昇時間 (ns)		入力容量 (pF)
			R (MΩ)	C (pF)	R (MΩ)	C (pF)	R (MΩ)	C (pF)	R (MΩ)	C (pF)	
			1:1	10:1	1:1	10:1	1:1	10:1	1:1	10:1	10:1
RS - TP 6350 I	1799556	1:1 / 10:1	1	10	68	13	10	350	< 35	< 1	10-30

ケーブル長さ 1.3 m

仕様は予告なく変更される場合があります。

10:1の場合:最大入力電圧 400 Vrms 測定カテゴリー2、周波数とともに軽減します!

1:1の場合:最大入力電圧 55 Vrms 測定カテゴリー2、周波数とともに軽減します!

詳しい情報は www.rs-components.com



IEC61010-031:2015

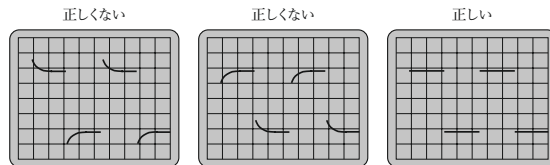
プローブ補正

プローブをオシロスコープの入力容量と適合させることによって測定された波形の振幅精度を確保するには、プローブの適切な補正が必要です。プローブをオシロスコープに接続したり、オシロスコープ間で伝送したりするときには必ず補正を調整する必要があります。

低周波調整

プローブに1 kHzの方形波を適用するか、オシロスコープのキャリブレーション出力に接続します。

上部が平坦な方形波が得られるまで、BNCボックスにあるシングルLFトリマーを調整します(下図を参照)。



高周波調整

プローブを1 MHz方形波信号に接続します(上昇時間は0.7ns未満)。

BNC補正ボックスから2つのプラスチックキャップを外します。

上部が平坦な方形波が得られるまで、まず左のトリマ、それから右のトリマを調整します(下図を参照)。

